２万人以上の患者を診た総合歯科医

教科書に書いてあることを疑え。（本庶佑）

人間は何か信じた瞬間、それを否定する論理が一切聞こえなくなる。（バーナード・ショー）

「原因は何か」を追求した実践歯科治療 他の講演者の言う通りにしても
うまくかない方必見です。今の歯科学間違いだらけ
「結果は患者さんの口腔内」にある「私の恩師は患者さん」です。

講師：医療法人宏和会 池尻歯科医院 理事長 池尻良治。抜歯抜髄が月に２本無い・知覚過敏剤のない歯科医院を経営
著書「いびきの新治療で心と体をリフレッシュ」
経歴：ライトタッチレーザー研究会会長　ライトタッチレーザー国際指導医　バクテリアセラピー指導歯科医師
国際睡眠時無呼吸アカデミー（ISASA）会長　　子供の睡眠とかみあわせを守る会会長
バイオビムラー(小児矯正）研究会会長　　日本小児矯正歯科学会会長
日本歯科衛生士アカデミー主催（食育の講演）

食育セミナー　全ての歯科治療の基本

2026年度　2月 8日（日）10:00～15:00
7月26日（日）10:00～15:00

歯周病・Ｅｎｄ・顎関節症・矯正を考えるとき食育が基礎となる

※ Zoom オンラインセミナー

受講料：30.000 円、再受講：10.000 円（税込）　※ISASA 事務局主催セミナー以外の再受講は 20.000 円（税込）
※新規受講はレジメ有、再受講はレジメ別途

歯科衛生士受講可　受講料 15.000 円（新規受講、再受講にかかわらずレジメは別途 5.000 円必要になります）

参加日	２０２６年　　月　　日	**人数**	名
医院名		**氏名**	
ご住所	〒	**TEL**	
		携帯電話	
メールアドレス		**参加**	新規　再受講　**※お選びください**

再受講の方は参加欄の再受講をお選びください。

申込先　Fax 専用　**０６－６３９５－３３３１**

振込先　**三菱 UFJ 銀行 千里中央支店 普通 0396546　ISASA（名義）**

振込手数料は各自ご負担ください。

2 週間前までのキャンセルは返金保証、それ以降は返金できません。

※再受講でレジメの必要な方はご連絡ください。別途 5.000 円かかります。

国際睡眠時無呼吸アカデミー
（ISASA）
WEB サイト

主催：国際睡眠時無呼吸アカデミー（ISASA）

ISASA WEB サイト：https://www.isasa-eoa.com/
Tel Fax：06-6395-3331　E-mail：isasa@jcom.zaq.ne.jp

事務局：医療法人宏和会池尻歯科医院
〒532-0002
大阪市淀川区東三国 4-1-8　大京ビル 2F

事務局へのお問い合わせ
☎ 06-6395-3331
医院の電話番号です。事務局への電話であることをお伝えください。

食育セミナーを受講された先生方のご感想

■患者さんの立場に見合った食育を実践されていることが理解できたと思う。経営、技術的な請習会が多い中で、人間味のある温かい内容に感銘を受けた。要介護者の口腔管理をする上で、長年「ドライマウス」の対応に悩み続けておりました。単なる対症療法から、宿主の体質を考えた根本的な管理に変えていこうと思う。付け加えて、わが身の健康増進が、患者さんへの心遣いになることを改めて感じた。<S.M 先生>

■今まで治療、技術中心の講習会には多く参加しておりましたが、今回のような生活習慣がすべてに通じるといった内容は、あまり聞いたことがなかったです。今後、地域に啓蒙できるよう取り組んでいきたいと思います。本日はありがとうございました。<I.Y 先生>

■講演は大変わかりやすく、勉強になりました。今まで、歯周病の患者さんの治療に際して、歯科医師側としてできる限りの治療を行い、患者さんもまた、口腔内の清掃に励んでいるにも関わらず、病態が改善しないことがありました。今にして思えば、今回のセミナーのような患者さんの日々の生活や食事の取り方などの視点が抜けていたように感じます。今後は、池尻先生のように、自然に食育を診療に反映できるように努力したいと思います。<T.M 先生>

■食育は興味があり、自分でも様々な本を読み、自身でも食べ方を色々と試してきましたが、今日のセミナーでは非常に役立つ情報をいただき、感謝でいっぱいです。明日から、スタッフ、患者さんに良い情報を届け、共に健康で明るいライフスタイルを送れるよう努力させていただきます。<N.I 先生>

■食育の大切さは理解していたつもりですが、詳しいことはほとんど無知であることに気付きました。資料をみながら、頭の中で整理して、少しでも患者さんに正しい知識を伝えられるようにがんばってみます。池尻先生のような患者さんとの信頼関係を築いていきたい。<N.M 先生>

■削るだけの歯科治療から、体を守る健康志向の歯科医療を目指しているのですが、食育を少しずつ日常臨床へ組み込んでいくヒントを貰えたと思つています。健康のために、これを歯科医師が行うことで、歯科医療の明るい未来が見えた気がしました。<K.K 先生>